

ワイヤレススイッチ式水栓



ワイヤレススイッチ吐水ユニット

713-340 ¥68,000 10/-

- 取付穴径22~28ミリ、35ミリ・厚5~35ミリ
- ACアダプター付き
- 手やひじなどでスイッチを軽く押すだけで水やお湯の出し止めができるため、病院や高齢者施設の居室に最適（足踏みによる操作はできません。）
- お湯を使用する場合は、混合水栓（173-301サーモスタットユニットなど）と合わせてご使用ください。
- ワイヤレス（無線）タイプのため、施工も簡単で、スイッチを使いやすい位置に自由に設置できます。
- 吐水口に流量調節ハンドル（止水不可）がついているため、必要に合わせて流量調節可能（同梱の吐水口以外は使用できません。）

ワイヤレススイッチ吐水ユニット

713-341 ¥71,000 10/-

水流切替：シャワー・泡沫



お湯で手洗いたい場合



➔ 6章 P.582

《セット明細》



《仕様》

電源	受信機：AC100V 50/60Hz共用（ACアダプター） スイッチ：1.5V単4形アルカリ乾電池2個（別売）
電池寿命※1	約2年（200回/日を目安とする）
コード長さ	電源：1.5m（ACアダプター）、電磁弁：0.4m
消費電力	待機時0.1W、動作時最大1.6W
流量調節範囲	約3~7L/分（0.2MPa時）
使用圧力	0.05（流動圧）~0.75（静水圧）MPa
使用室温範囲	1~50℃
使用水温範囲	1~40℃（一般上水道・凍結不可）
連続吐出時間	30秒
スイッチ使用電波	出力：311MHz帯500μV/m以下（微弱無線電波機器）
電磁弁部給水接続	G1/2

※1：使用条件・環境により異なります。

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

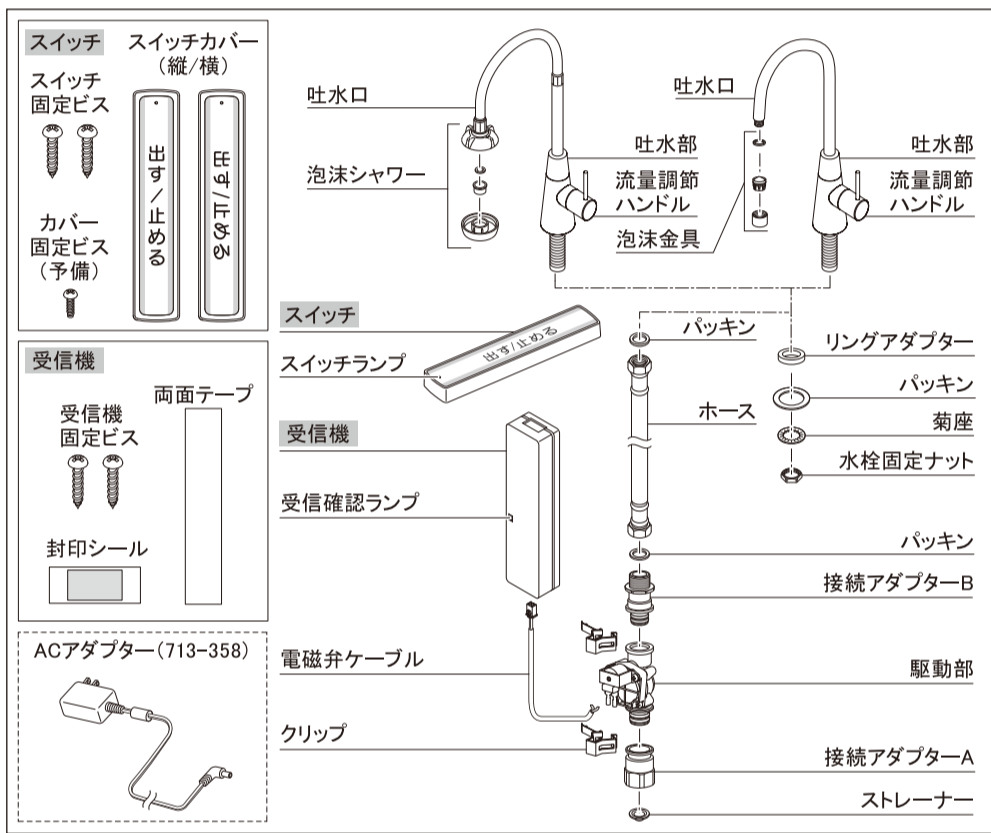
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
また、本書は別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

製品仕様

取付穴径	22~28、35ミリ	使用室温範囲	1~50℃
取付厚	5~35ミリ	使用水温範囲	1~40℃(一般上水道・凍結不可)
電源	受信機:AC100V 50/60Hz(ACアダプター) スイッチ:1.5V単4形アルカリ乾電池2個(別売)	連続吐出時間	30秒
電池寿命 *1	約2年(200回/日を目安とする)	スイッチ 使用電波	出力:311MHz帯500μV/m以下 (微弱無線電波機器)
コードの長さ	電源:1.5m(ACアダプター) 電磁弁:0.4m	電磁弁部給水接続	G1/2
消費電力	待機時0.1W / 動作時最大1.6W	*1:使用条件・環境により異なります。	
流量調節範囲	約3~7L/min(0.2MPa時)		
使用圧力	0.05(流動圧)~0.75(静水圧)MPa		

分解図



* 品番によっては図と製品の形状が一部異なります。
* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

禁止 同梱のACアダプター(713-358)以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

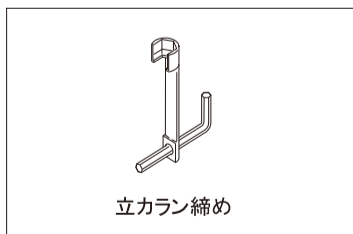
製品同梱明細

施工前に、下記の同梱部材がそろっていることをご確認ください。

● 分解図にあるものに加えて、
● 取扱施工説明書 ● 安全上のご注意 ● 保証書 ● 取扱シール

施工の前に

準備するもの



* 左記に加えて、
● モンキーレンチ
● プラスドライバー
● 電気ドリル・ドリルビット(6ミリ)
をご準備ください。

確認事項

使用条件(給水圧力)について
* 使用給水圧力範囲は0.05(流動圧)~0.75(静水圧)MPaです。
* 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
* 快適にご使用いただくために、0.2MPa程度の給水圧力を推奨いたします。
* 本品は水用です。給水温度は40℃以下にしてください。

施工の前に(つづき)

確認事項(つづき)

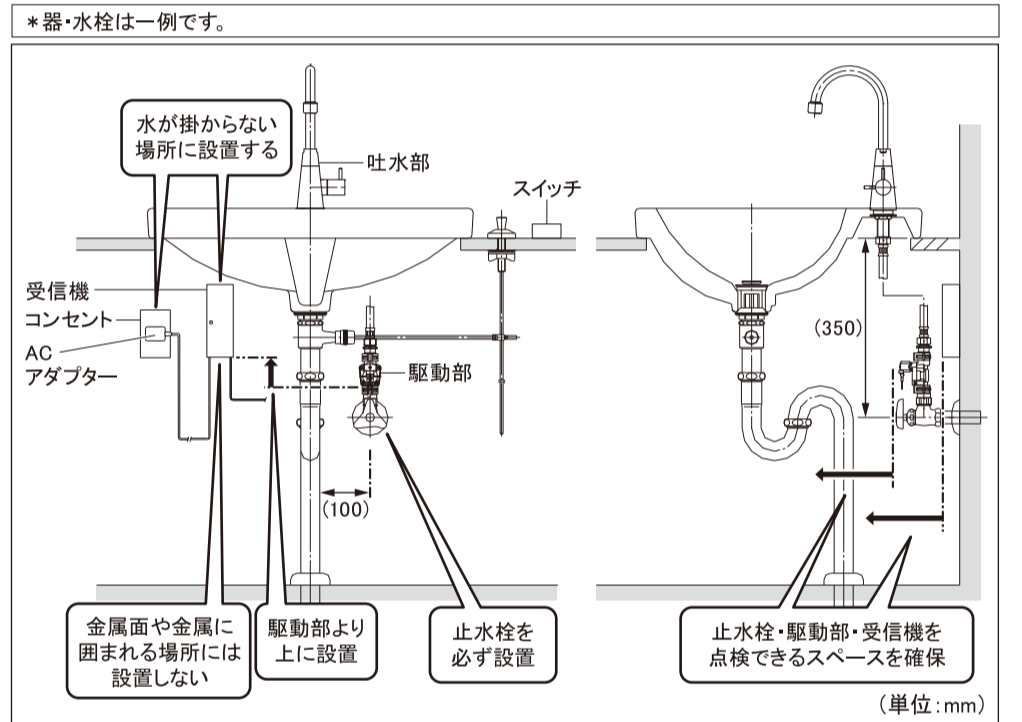
施工寸法および配管・配線について
* 施工前に【施工例】を参考に給水配管(止水栓)の取出位置をご確認ください。
* 流量調節および器具の点検・メンテナンスのために、止水栓(別売)を必ず設置してください。
* 受信機・駆動部・ACアダプターはキャビネット内の引出しや収納物などに当たらない位置に取付けてください。
* 受信機・駆動部・ACアダプターの取付位置を決める際は、各ケーブルやACアダプターのコードが無理な引回しにならないかご確認ください。また、各ケーブルやコードは継足ししないでください。
* 受信機の取付位置を決定する際は、【施工例】の設置条件をご確認ください。
* コンセントを新たに設置する場合は、ACアダプターがキャビネット内の壁や引出し、収納物などに当たらないかご確認ください。

その他の確認事項

* スイッチとの通信には微弱な電波を使用しているため、オールステンレスの製品には使用できません。
* スイッチおよび受信機は金属面に取付けないでください。電波受信ができず、動作しない原因となります。
* スイッチおよび受信機は、金属(金属製のカウンターや壁など)で覆わないでください。電波受信ができず、動作しない原因となります。
* 設置場所によって電波を受信しにくいことがありますので、固定前に動作をご確認のうえ取付けてください。電波を受信しにくい場合は、受信機またはスイッチの取付位置をご変更ください。
* スイッチは落下しないように、必ず固定してご使用ください。落下させると破損の原因となります。
* スイッチを床に取付けないでください。スイッチが破損したり、転倒などによりケガをする恐れがあります。
* 以下のような場合、動作に支障をきたす原因となることがあります。
● スイッチと受信機の間、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
● 放送局・無線局などの強い電磁波を発生する施設(機器など)が近くにある場合。
● インターネット・赤外線・電波を用いた機器が近くにある場合。
● 医療機器(各種検査装置など)が近くにある場合。
* 本品は屋内用です。屋外で使用しないでください。
* ACアダプターやスイッチ、受信機に水をかけないでください。
* 浴室など、水がかかったり、表面に結露が生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。
* 本品は寒冷地対応品ではありません。スイッチや吐水部周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
* 梱包前に通水検査をしているため、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

禁止 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器や医療機器の近くでは使用しないでください。自動制御機器やペースメーカー、その他医療機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。当該の医療機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。なお、このスイッチは微弱電波無線機器に該当し、出力は311MHz帯、500μV/m以下です。

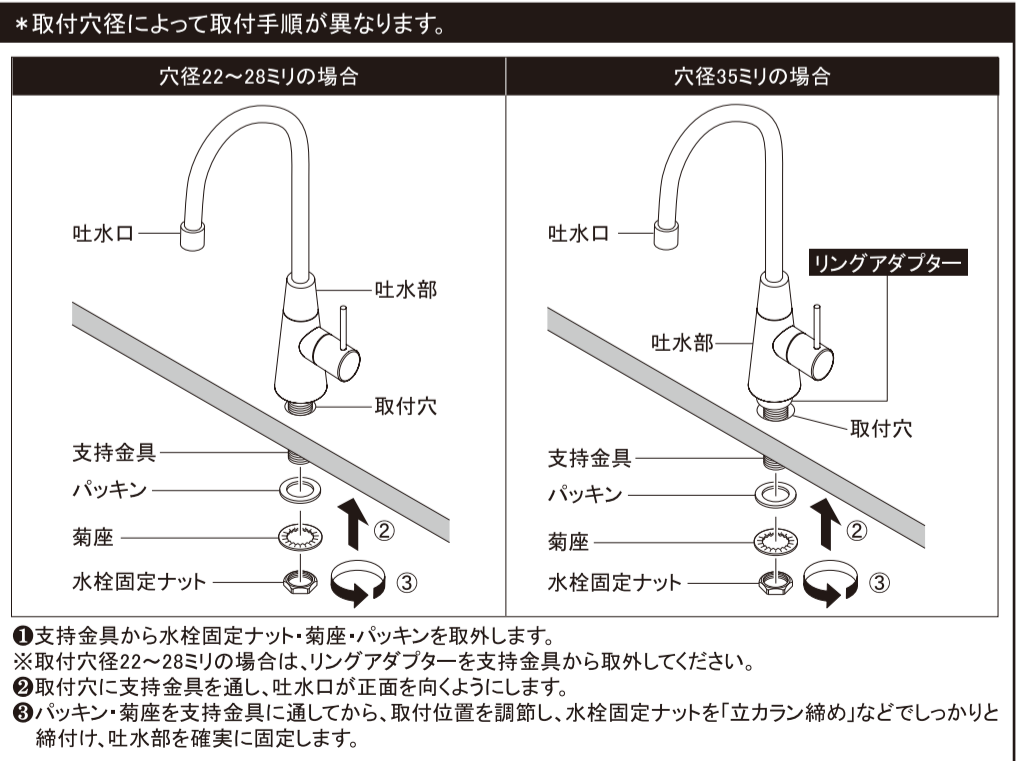
施工例



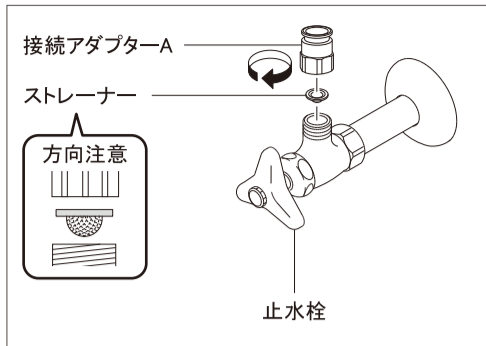
施工方法

* 数秒間水を通し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉じて取付作業を行ってください。

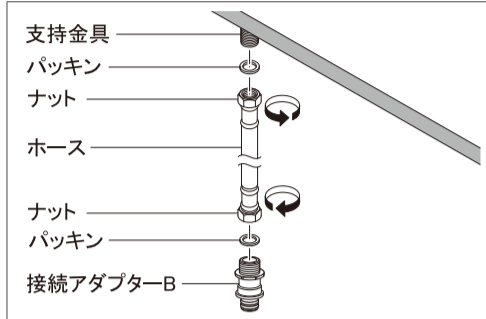
1. 吐水部を取付けます。



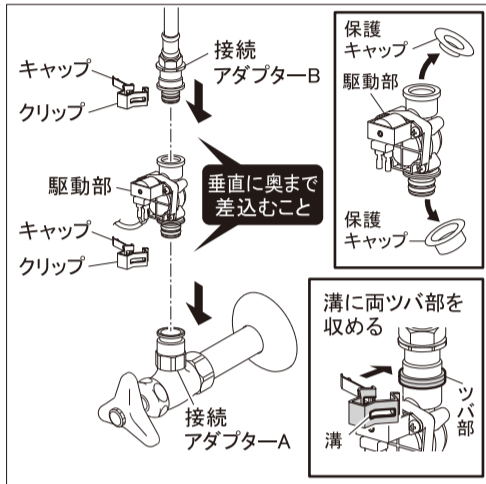
2. 駆動部を取付けます。



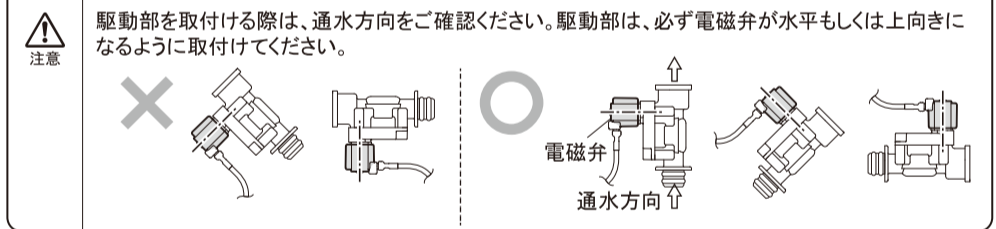
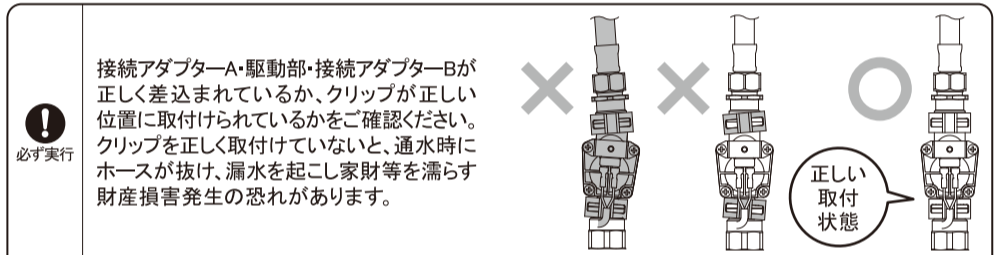
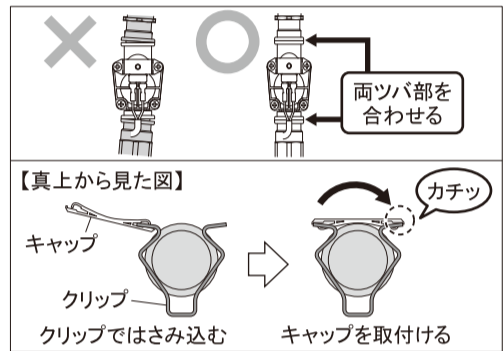
①ストレーナーの網が出ている方を止水栓側に向けて接続アダプターAに入れ、接続アダプターAを止水栓にしっかりと締付けます。
*ストレーナーの向きにご確認ください。



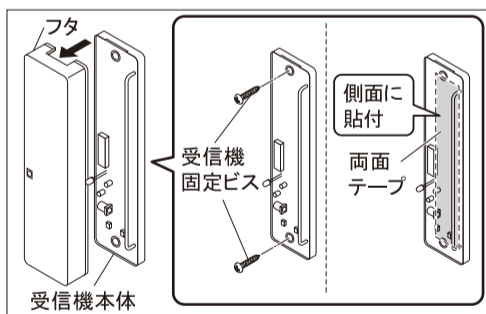
②ホースの片方のナットにパッキンを入れて支持金具にしっかりと締付けて固定し、もう片方のナットにパッキンを入れて接続アダプターBを止水栓にしっかりと締付けます。



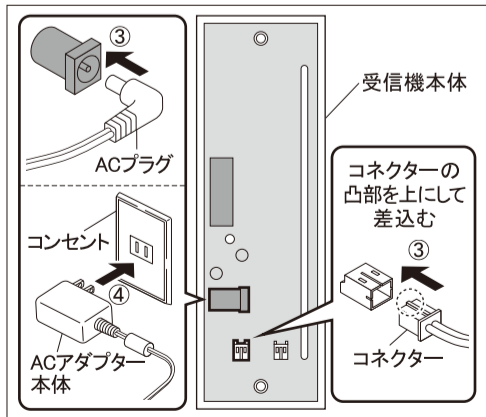
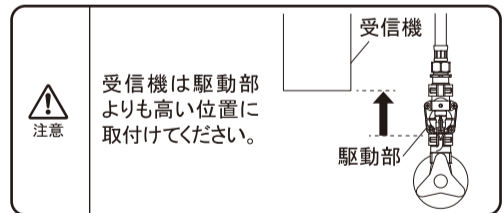
③駆動部の保護キャップを外します。接続アダプターAに駆動部・接続アダプターBの順に垂直に奥まで差込みます。
④クリップの溝に接続アダプターAと駆動部、駆動部と接続アダプターBの両ツバが収まるようにクリップをはめ込み、キャップを取付けます。



3. 受信機を取付けます。

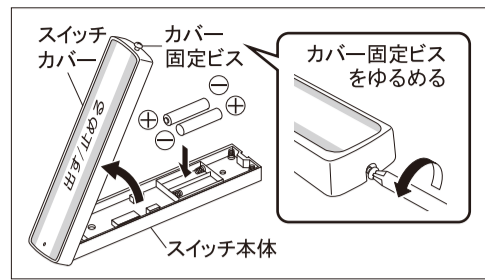


①受信機本体からフタを取外します。
②受信機固定ビス(同梱)、もしくは両面テープで受信機本体を壁などに固定します。

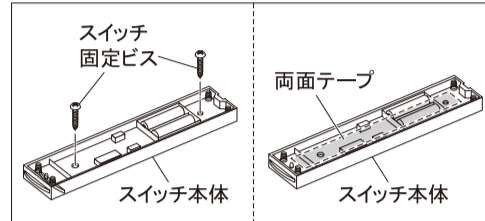
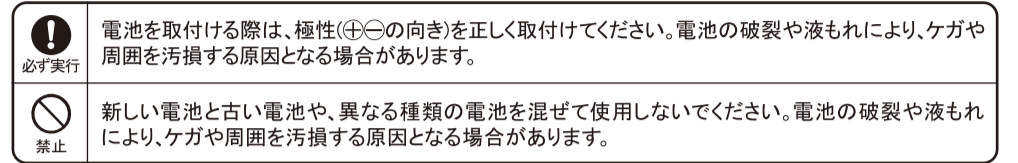


③ACプラグと電磁弁ケーブルのコネクターを受信機本体に差込みます。
④ACアダプターをコンセントに差込みます。

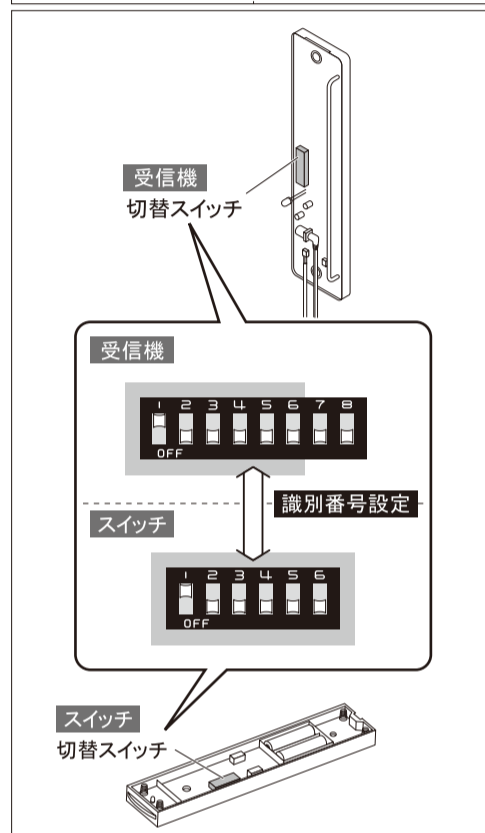
4. スイッチを取付けます。



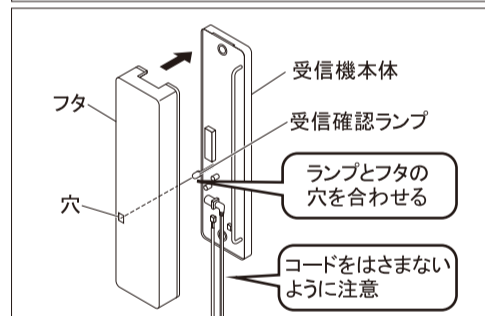
①カバー固定ビスをゆるめて、スイッチカバーを外し、乾電池を取付けます。



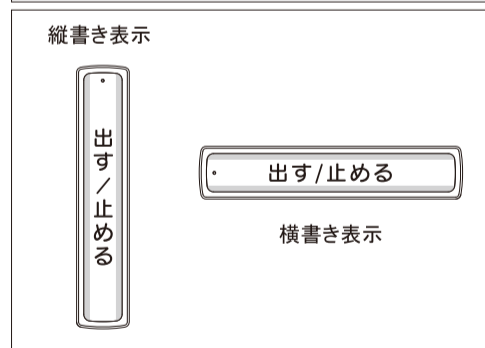
②スイッチ固定ビス(同梱)、もしくはスイッチ裏面に貼付けてある両面テープでスイッチ本体を壁やカウンターなどに固定します。
*両面テープのはくり紙をはがして壁やカウンターなどに固定します。



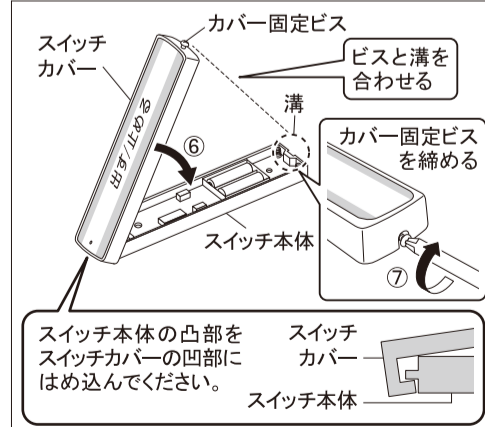
③受信機とスイッチの切替スイッチの識別番号設定が同じになっているかご確認ください。



④受信機のフタを受信機本体にはめ込みます。

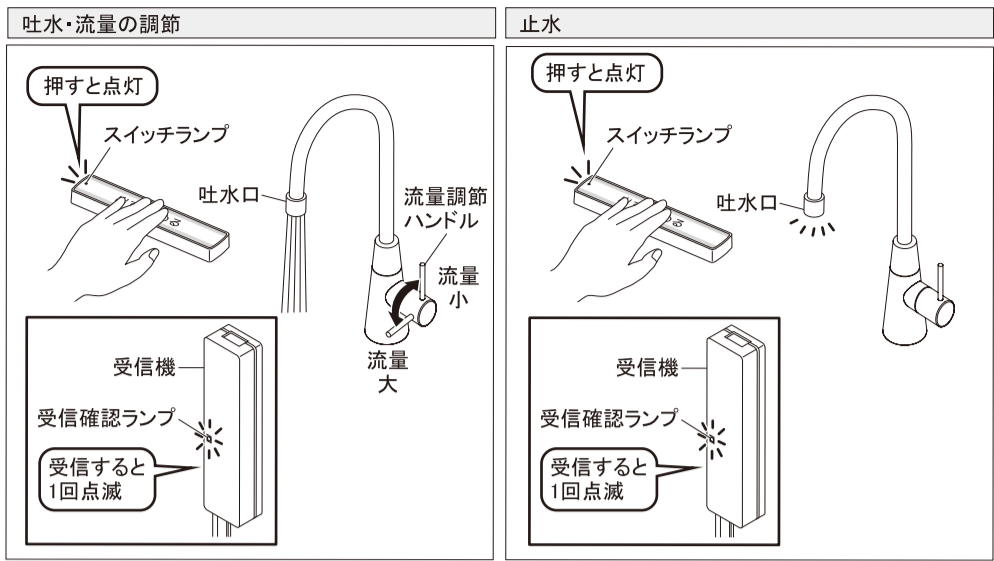


⑤設置場所に合わせてスイッチカバーの表示を選びます。



⑥カバー固定ビスとスイッチ本体の溝が合うように向きを合わせ、スイッチカバーを被せます。
⑦カバー固定ビスを締めて固定します。

施工後の確認



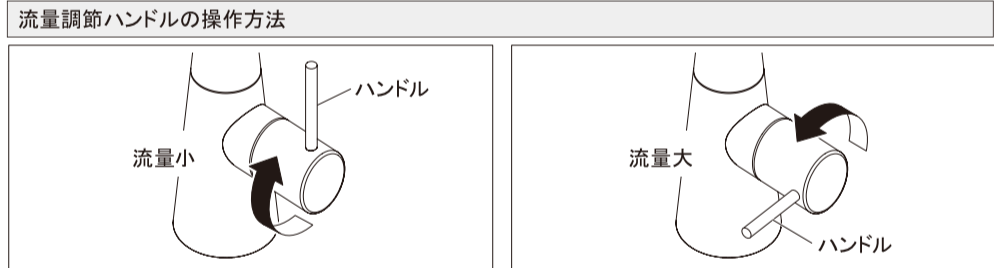
- ① 止水栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。止水栓を開いた際に吐水口からの水が止まらない場合には、一度止水栓を閉じてから電池およびACプラグを取付け直してください。吐水部内部に定流量弁を内蔵していますので、通常は流量の調節は不要です。止水栓は全開の状態で使用してください。漏水が発見された場合は、止水栓を閉じて漏水する箇所を施工し直してください。
 - ② スイッチを押して水を出し、各部に漏水がないかを確認します。漏水が発見された場合は、止水栓を閉じて漏水する箇所を施工し直してください。水が出ない場合は、**施工方法** 3. 受信機を取付けます。4. スイッチを取付けます。に戻って、ご確認ください。取付け後に初めて水を出す場合は、約10～20秒間連続して水を出して流量を安定させてください。
- *もう一度スイッチを押すと水が止まります。(止水時に吐水口から水滴が数滴落ちる場合があります)
 *一度吐水して約30秒間連続して水を出すと、自動的に水が止まります。再び水を出す場合は、もう一度スイッチを押してください。
 *流量調節ハンドルをまわすと流量が変わります。

使用の前に

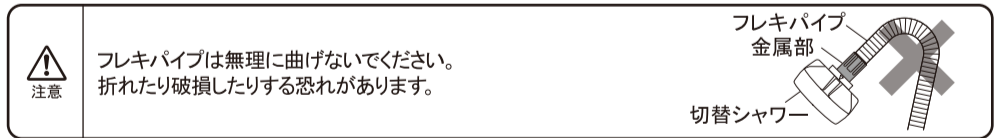
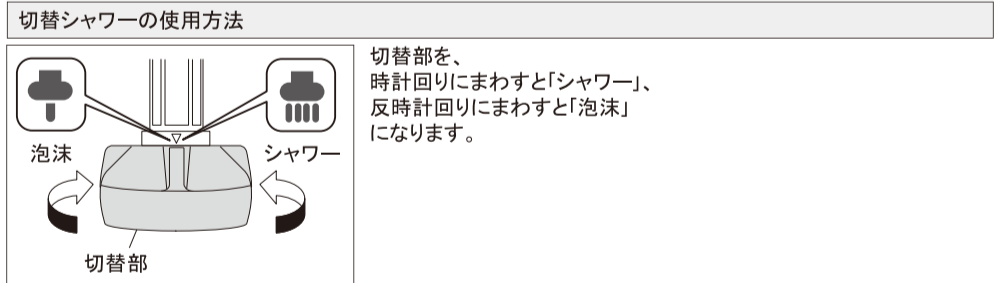
- 止水栓について**
 止水栓が開いているかご確認ください。
 *通常、止水栓は全開でご使用ください。
- 各ケーブルについて**
施工方法 3. 受信機を取付けます。を参考に、電磁弁ケーブルが受信機本体に確実に接続されているかご確認ください。ACアダプターを使用する場合はACプラグが確実に差込まれているかご確認ください。
- 電源について**
施工方法 4. スイッチを取付けます。を参考に、スイッチに電池が正しく取付けられているかご確認ください。ACアダプターを使用する場合はACアダプター本体がコンセントに確実に差込まれているかご確認ください。

使用方法

- スイッチを押すと吐水し、再度押すと止水します。
- *約30秒間連続して水を出すと、自動的に止まります。再び水を出す場合は、もう一度スイッチを押してください。
 *毎日の使い始めや2日以上使用しなかったときは、約10秒間水を流してから使用してください。

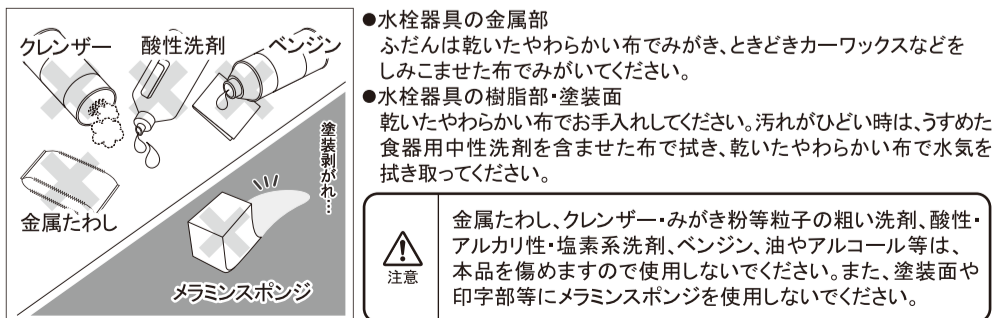


ハンドルを手前に倒すと流量が増し、元に戻すと流量が減ります。



お手入れ方法

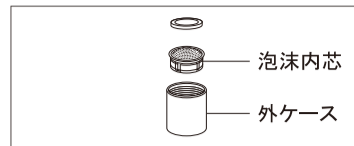
器具のお手入れ いつまでも美しくご使用いただくために。



金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、本品を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。

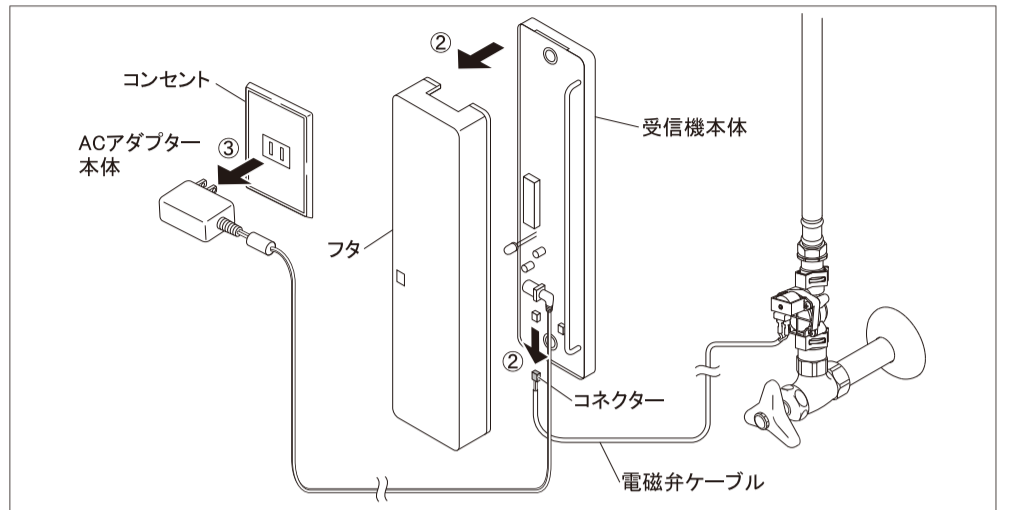
お手入れ方法(つづき)

泡沫内芯のお掃除

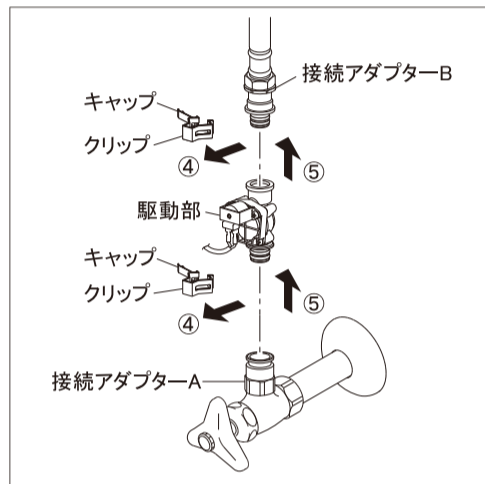


ご使用開始時に比べて著しく水の出が悪くなった場合は、吐水口先端の泡沫内芯を取外し、ゴミなどの異物を水洗いして取除いてください。

ストレーナーのお掃除

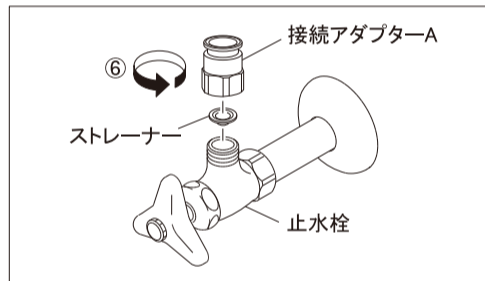


- ① 止水栓を閉じて止水します。
- ② 受信機本体からフタを取外し、電磁弁ケーブルのコネクターを外します。
- ③ ACアダプター本体をコンセントから抜取ります。

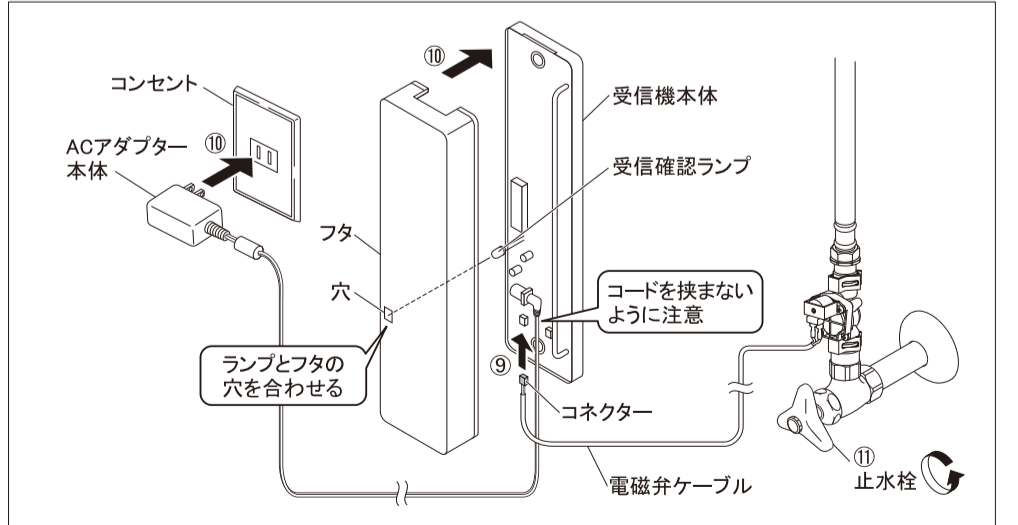
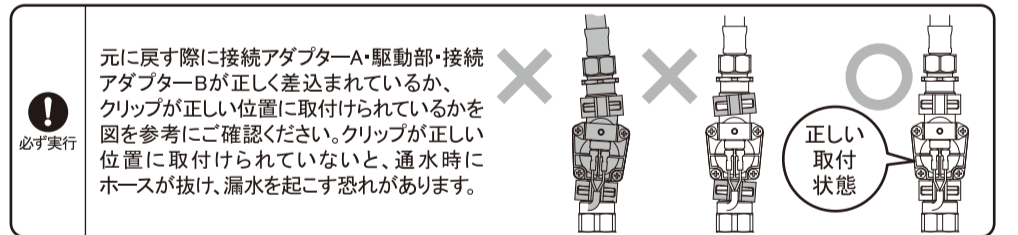


- ④ キャップを取外し、接続アダプターA・駆動部・接続アダプターBをとめているクリップを取外します。
- ⑤ 接続アダプターB・駆動部を真上に引いて、取外します。

注意 配管内に水が残っている恐れがあります。止水栓の下にバケツ等を置き、ACアダプターやケーブルのコネクター、周囲のもの等を濡らさないようご注意ください。

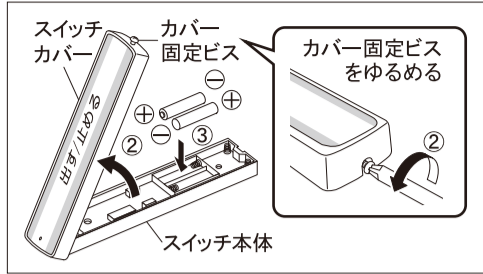


- ⑥ 接続アダプターAをゆるめ、止水栓から取外します。
- ⑦ 接続アダプター内にあるストレーナーを取り出し、網目に詰まったゴミを取除きます。
- ⑧ ④～⑦の逆の手順で元に戻します。

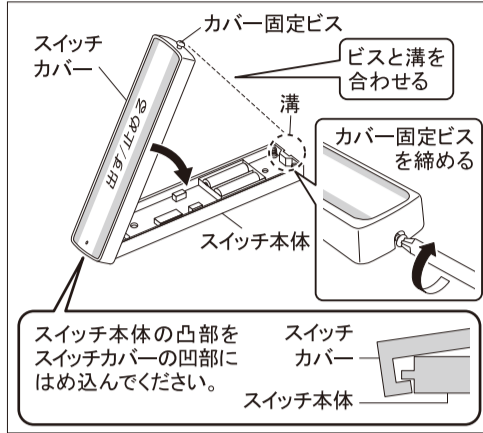


- ⑨ 受信機本体に電磁弁ケーブルのコネクターを差込みます。
- ⑩ 受信機本体にフタをはめ込み、ACアダプター本体をコンセントに差込みます。
- ⑪ 止水栓を開き、各部の漏水および動作の確認を行います。止水栓は全開にしてください。約10～20秒間連続して水を出して流量を安定させてください。

電池の交換



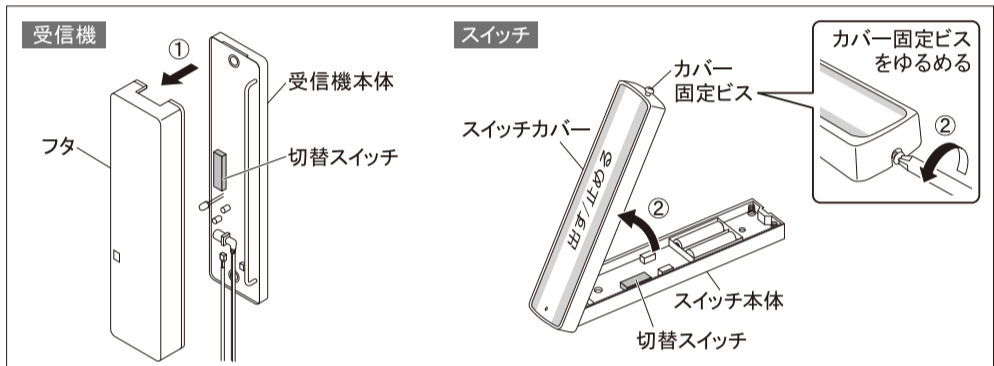
- ① 止水栓を閉じて水を止めます。
- ② カバー固定ビスを「プラスドライバー」などでゆるめて、スイッチカバーを外します。
- ③ 古い電池を取外し、新しい電池を取付けます。



④①～②の逆の手順で元に戻します。

- 必ず実行** 電池を取付ける際は、極性(⊕⊖の向き)を正しく取付けてください。電池の破裂や液もれにより、ケガや周囲を汚損する原因となる場合があります。
- 禁止** 新しい電池と古い電池や、異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂や液もれにより、ケガや周囲を汚損する原因となる場合があります。

識別番号と連続吐水時間の設定方法



- ① 受信機のフタを取外します。
- ② スwitchのカバー固定ビスをゆるめて、スイッチカバーを外します。

受信機 連続吐水時間設定

スイッチ 識別番号設定

【連続吐水時間の設定】
下記の設定で自動で止水する連続吐水時間を選択できます。

7・8番設定	吐水時間
7番: OFF 8番: OFF	30秒
7番: ON 8番: OFF	1分
7番: OFF 8番: ON	5分
7番: ON 8番: ON	10分

- ③ 受信機とスイッチの切替スイッチの識別番号設定が同じになりますようにします。
- ④ 左記を参考に、受信機の切替スイッチの7・8番の設定で連続吐水時間を選択します。
- ⑤ ①～②の逆の手順で元に戻します。

簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処
吐水量が少ない	止水栓が閉じている	止水栓を全開にする
	泡沫内芯またはストレーナーが目詰まり	泡沫内芯・ストレーナーを掃除する
	流量調節ハンドルが流量の少ない位置にある	流量調節ハンドルを流量の多い位置にする
吐水不良 全く吐水しない	水がきていない	止水栓または元栓を開く
	止水栓が閉じている	止水栓を全開にする
	泡沫内芯またはストレーナーが目詰まり	泡沫内芯・ストレーナーを掃除する
	電池が正しく取付けられていない	電池の極性(⊕⊖の向き)を正しく取付ける
	電池が消耗している	新しい電池に交換する
	スイッチに電池が入っていない	電池を取付ける
	ACアダプターが正しく取付けられていない	ACアダプターをコンセントおよび受信機本体に正しく接続する
	各ケーブルが正しく接続されていない	各ケーブルを正しく接続する
	スイッチと受信機の識別番号設定が異なっている	お手入れ方法 識別番号と連続吐水時間の設定方法をご参照ください。
	ステンレスなどの金属面にスイッチや受信機を取付けている	金属面以外の場所に取付けてください。
止水不良 水が止まらない	スイッチの電池が切れている	新しい電池に交換する
	インバーターや赤外線を用いた機器が近くにある	該当する機器を遠ざける
	スイッチと受信機の識別番号設定が異なっている	お手入れ方法 識別番号と連続吐水時間の設定方法をご参照ください。
	スイッチと受信機の間銅やアルミ箔などの金属製の障害物がある	障害物を取除くか、スイッチまたは受信機の位置を移動してください。

修理を依頼される前に

000-000 ← 品番

お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせいただく際、水栓本体にシールが貼付けられている場合は、そちらで品番をご確認ください。

分解禁止 説明書に記載された箇所以外は絶対に分解したり、改造・修理しないでください。火災や感電、故障の原因となります。